

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオール弘明寺教室				公表日	令和8年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員の基準を満たしたスペースを確保できているとおもいます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置出来ていると思います。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		日々の活動内容についてグループごとのスケジュールを用意していることや、個々のこどもに合わせて個別的スケジュールを用いることや荷物をしまろロッカーの位置などの配慮をおこなっています。	トイレ前に段差がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		こども達の活動に合わせて部屋ごとに活動を変えたりリラックスして本などを読む空間をつくるなど、各空間ごとに目的を作りながら生活空間を整えています。	ロッカーの上の活動具などの整理整頓も継続して努めていきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静かな部屋で過ごしたいこどもなど、こどもが安心して通所できるような環境を整えています。こどもからの発信があったときや、職員がこどもにとって安心できると考えたときに、そのような部屋で過ごせる環境をつくっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		事後ミーティング内で活動のふり返りを職員間で行っていることや、実施している活動が目標や支援内容と大きく逸れていないか複数の職員を交えながら参画できているとおもいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		開所初年度の保護者向け評価表の集計結果を、職員間で確認しました。	ポジティブに捉えられる意見が多かったため、次年度もこどもの成長につながる支援の継続に努めていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事前・事後ミーティング内でも情報共有することや、その他の業務期間中でも各担当の職員と意見交換をしながら、活動内容を検討することや長期休暇の活動プログラムを検討しています。ミーティングの際に児童の状況を教えてください、働きやすいです。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価が実施されているかはわかりませんが、事業所の体制などを行政機関と積極的に連絡をしてくださっているとおもいます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		支援方法やこどもの関わりについての知識習得のため、研修が行われていたり、外部研修においても積極的に参加できるような体制が整っているとおもいます。新しいことを学べて、今後の業務に活用しやすいです。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムをホームページを中心として作成、公開しており、そのプログラムに沿って日々の支援をおこなっています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々のこどもの自由時間や活動などの様子等の行動観察からアセスメントを行っていることや、その日々の記録や職員との情報共有などから放課後等デイサービス計画を作成しているとおもいます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心となりますが、こどもと関わる職員と支援方針のすり合わせや活動共有・検討等を行いながら、支援を進めています。		

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		利用日当日のこどもの支援目標、支援内容一覽で確認することができていたり、日々の支援記録に対しても目標達成や支援内容の実施の有無の記載をしています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じてフォーマルアセスメントを実施することや日々の活動の様子を観察することや日々の支援記録に残し、それを基にインフォーマルアセスメントをおこなっていると思います。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画書内で5領域や家族支援などの目標やその支援内容を設定されており、その目標や支援内容を意識しながら日々の支援に取り組んでいます。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各部屋を担当している職員等から意見交換しながら活動を立案することや、個々のこどもについての支援方針を決定する際は全職員でどのように進めるか等の意見をすり合わせながら活動内容を決定しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こどもの体調や意欲の把握をしながら、固定化しないで様々な経験ができるような活動を組み立てています。	状況によっては、ある程度固定化した活動内容を継続することも必要なことと感じるため、その部分についてはチームとして情報共有して決めていきたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援計画上において個別活動、集団活動での目標が明確に定められており、その目標や支援内容に沿って活動を行っています。個別活動で学習した内容を集団活動でも取り入れること（逆も同様）も継続していきます。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		一日の活動内容を職員間で確認する時間を設けています。活動内容だけでなく、日々のこどもの様子についても共有し、個々のこどもに対するの関わり方についても共有しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		帰りの送迎が終了後に職員間で、一日の振り返りとして、ヒヤリハットや各活動の担当職員よりこどもの様子などを共有する時間を設けています。出勤していない職員に対しても、出勤時に情報共有するようにしています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		余暇活動や集団での友達との関わりなど技術獲得にむけての活動等、あらゆる場面の記録をしています。そのような記録の中で、職員間で情報共有しつつ、支援の見直しや継続実施をおこなっています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		こどもの様子を確認するうことや保護者との情報共有を日々継続しながら定期的にモニタリングをおこない、次期計画書にむけて目標設定や支援内容を検討しています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		手洗や身支度などの日常生活に欠かせない技術の習得や季節感を感じられる製作活動も行っています。自由時間には好きなことをしたり、休憩したり自己決定してもらうことや近隣の公園等の地域資源で活動を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		おやつや自由時間では具体物やイラストなどを見て決めるなど、個々の児童に合わせて自己選択する時間を設けています。集団や個別での活動においても自分で決めることや、それを職員に伝える方法を学習する活動も行っています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議等を他機関の相談支援員や対象となる子どもの状況をよく理解した職員が日程調整等で参画、参加しているとおもいます。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		主治医の意見の共有や検査結果報告書、個別の指導計画等からも情報を得つつ支援内容を検討しています。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定表などを保護者等を中心として共有いただくことや学校で決められたルールに則り送迎時の対応をおこなっております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		今年度、就学前から利用している児童については存じ上げませんが、保育所に限らず、小学校等との情報提供や相互理解に努めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			該当者なし	放課後等デイサービスから障害福祉サービスへ移行するお子さんはいませんが、日々の様子などの情報提供ができるようなの記録していることや、近隣の社会資源となる障害福祉サービスがどのようなものがあるのか把握に努めていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	児童発達支援センターとの連携について存じ上げませんが、研修参加をすることや、講師を招く等、職員全体のサービスの質の向上を図る取り組みをおこなっています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域で行われるかるた大会に向けて、こどもと一緒にかるた製作をおこないましたが、今年度のかるた大会には参加することができませんでした。	地域での活動において可能な範囲で参加できるように努めていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		全職員ではないが、担当者が自立支援協議会に可能な範囲内で参加できているとおもいます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		公式LINEや送迎時などで日々の状況や変化などをお伝えすることや、家庭や学校などの様子を教えていただいた際は、職員間で共有しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングを実施しました。	これ以外にも情報が必要とおもわれる家族等に対しては、事業所で把握できている範囲の情報提供に努めていきたい。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		パンフレットの提示や支援プログラムなどを見学者にお伝えすることや運営規定、重要事項規定説明書は契約時などを中心に説明をしているとおもいます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング、計画書の作成時にヒアリングを実施することや、日々の子どもとも意向確認しながらサービス提供をしているとおもいます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		職員間で計画書の確認を行ったうえで、保護者に現実可能な目標や支援内容をお伝えしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		公式LINEや電話、面談時などを通して、その悩みに精通している職員が必要に応じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	ペアレントトレーニングを実施し、保護者間で軽やかに交流している場面が見受けられました。	保護者間の交流だけを目的とした催しは実施していませんが、それらに対しては今後どのように取り入れていくか検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情だけに限らず、個々のこどもに対しての対応や学校で決められた送迎ルールを順守していくことを心掛けています。	貴重なご意見をいただいた際は、職員間で共有、検討をしていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページなどに活動内容などを公開していることや、長期休みや月数回の特別プログラムの内容について事前に周知していることや、その様子などを保護者にお伝えしています。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫にて個人ファイルを保管していることや、外出時では個人情報に十分留意した声掛けを心掛けています。		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々のこどもに合わせた情報伝達を行うことや、意思伝達できる方法について支援の中で習得できるようにサービス提供を考えています。LINEを使って保護者の方と親密に連絡を取り合っています。		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		本年度新規開所し、児童の受け入れなどの環境整備を優先的に行ったため、地域住民を招待する等の取り組みに対しては把握ができていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定の上、職員間で共有していることや感染症、嘔吐処理などの研修もおこなっています。	マニュアルはすぐに関読できる場所に保管しているが、家族等にもすぐに関読できるような方法を考えていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、非常災害時などを想定した避難訓練などを子どもを交えながら実施しています。実施時は、日々の活動内容の連絡として保護者に共有しています。	非常災害時、事業所と保護者間でどのように情報提供を進めていくかは、検討を続けていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前にこどもの状況について確認することや日々の家族等とのやりとりの中でそれらの情報の追加があったときは、職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある子どもに対してリスト化し、おやつ提供時などで、そのリストをすぐに確認できるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		緊急時の対応などに、考えられる事案を検討しています。引き続き様々な事案についての必要な措置などを考えられたいと思っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全確保のマニュアルなどを職員間で周知していることや、すぐにそのマニュアルを閲覧できる場所に保管しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		業務終了後に当日サービス提供についてのヒヤリハットを挙げ周知することや、それらの再発防止にむけて検討する時間も設けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を実施していることや、今後どのように職員虐待防止についての理解を深められるかを継続して考えていきます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な子どもに対して、今後どのような方法で進めていくかを検討しながら、計画書などに明記、その経過や身体拘束の解除できる方法などを考えながら支援を検討していきたいと思っています。		